

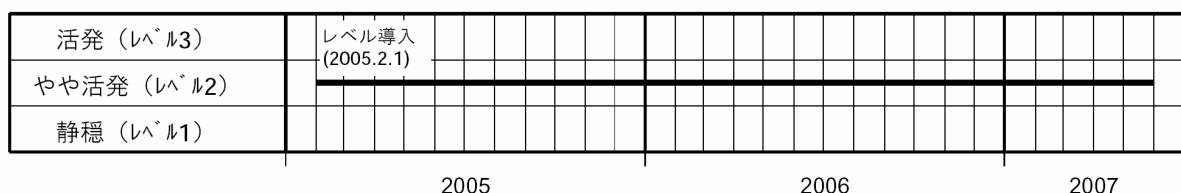
薩摩硫黃島

火山活動評価：やや活発な状況（レベル2）

噴煙活動、地震活動とともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

2005年2月1日の導入以降、レベル2が継続しています。

火山活動度レベルの推移



概況

・噴煙活動（図2）

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや活発な状態で経過しました。

噴煙は白色・少量で、高さは200～400m（最高高度は800m）で推移しました。

・地震、微動活動の状況（図2、図3）

地震活動はやや活発な状態で経過しました。

火山性地震の月回数は156回（4月：155回）とやや多い状態が続いています。

継続時間の短い火山性微動は8回（4月：5回）発生しました。

火山性連続微動は観測されませんでした。

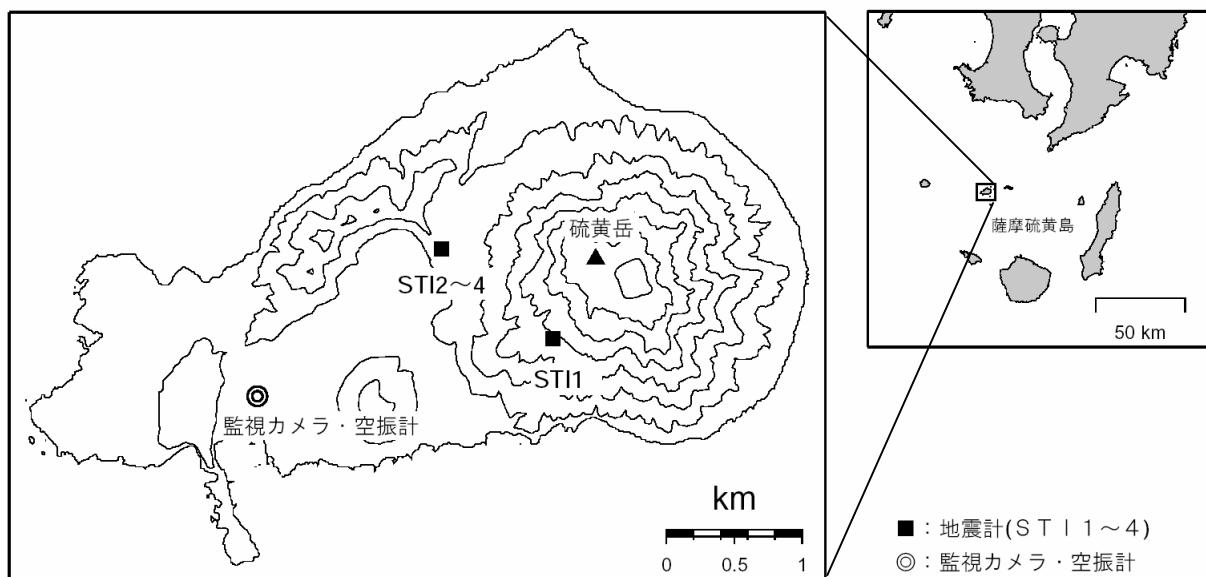


図1 薩摩硫黃島 観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図10mメッシュ(火山標高)』を使用しています(承認番号：平17総使、第503号)。

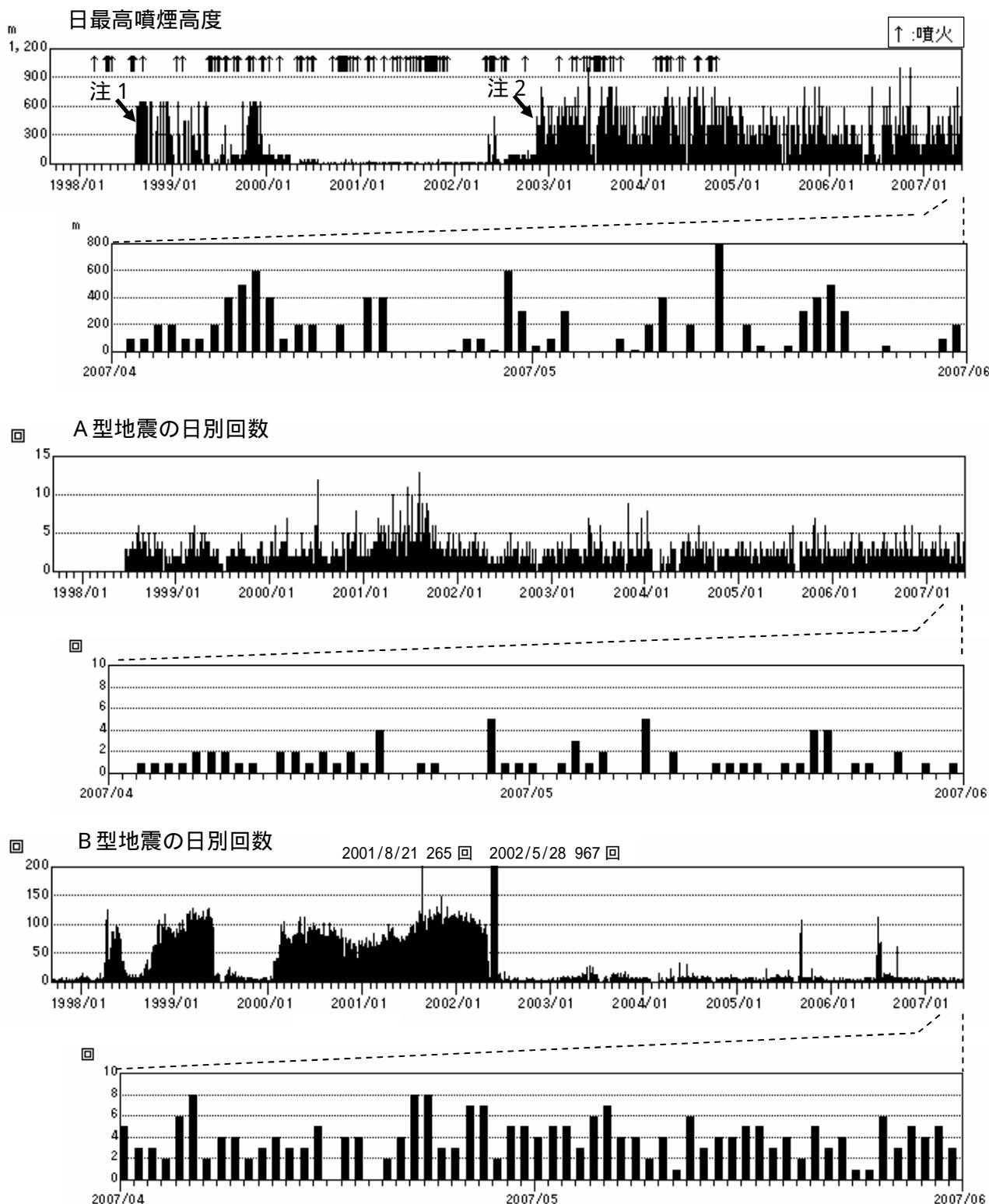


図2 薩摩硫黄島 火山活動経過図(1997年9月10日～2007年5月31日)

- ・2007年5月に噴火はありませんでした。
- ・2007年5月の噴煙は白色・少量で、最高高度は14日の火口縁上800m(4月:600m)でした。
- ・2007年5月のA型地震は35回(4月:36回)で、大きな変化はありませんでした。
- ・2007年5月のB型地震は121回(4月:119回)で、やや多い状態でした。

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

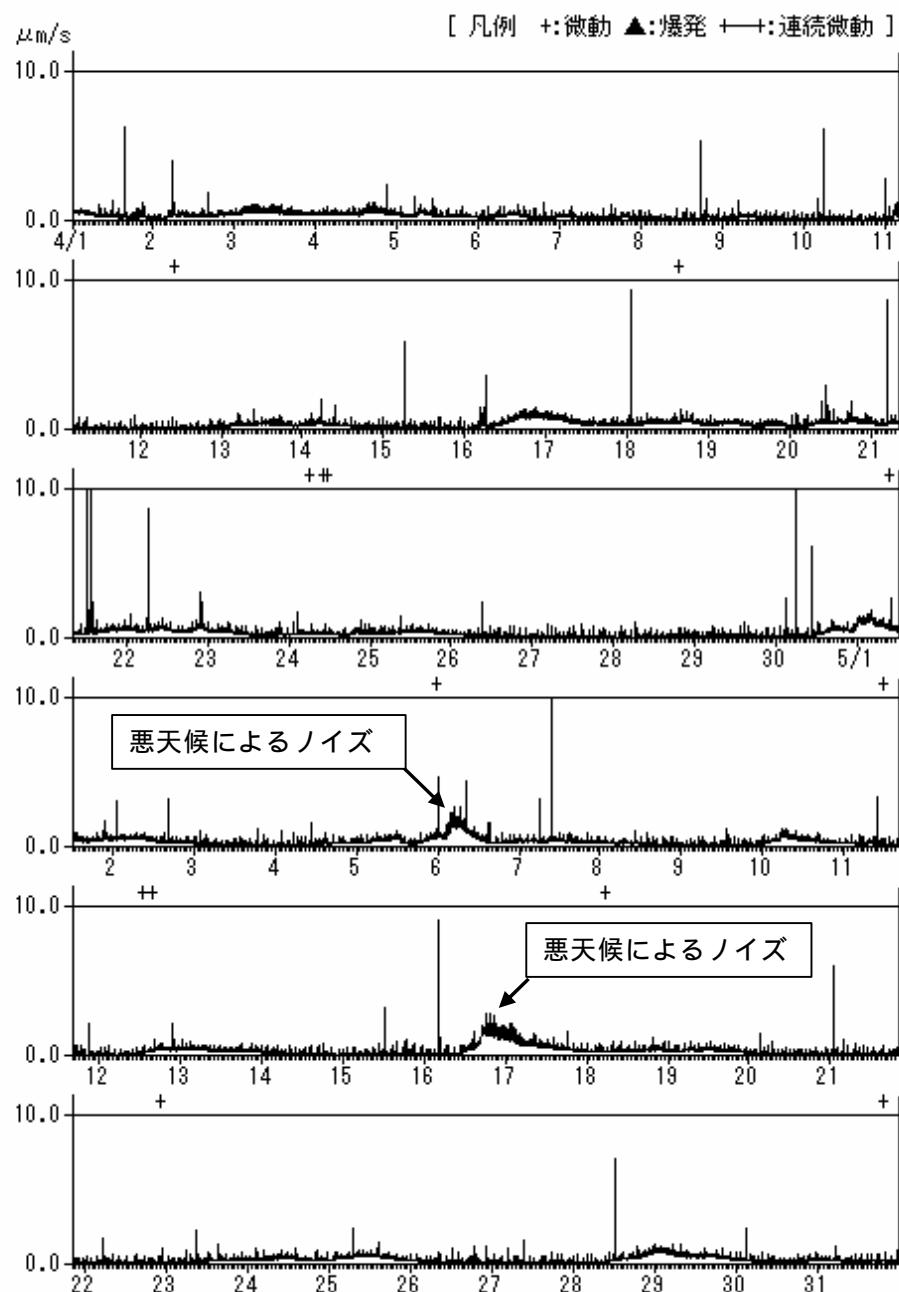


図3 薩摩硫黄島 1分間平均振幅の時間変化(STI1上下成分)(2007年4月1日～5月31日)

- ・火山性連続微動はありませんでした。
- ・継続時間の短い火山性微動が時々発生しました。